

平成 27 年度 事業報告

特別養護老人ホームフラワーホーム

【基本方針の総括】

利用者のしたい事やできる事を支援しようと努力した。だが、利用者のできる部分も職員が介助してしまうなど業務中心となり自立を損ねてしまうこともあった。しかし、職員は利用者に対して常に誠実で優しく接することができた。また家族と協力し、墓参りに行くなど利用者の喜びとなる支援を行った。

【努力目標に対する達成度、成果】

- (1) 利用者が笑顔で暮らすために、歩んできた人生に寄り添い、家族や地域社会との関わりを保ちながら、楽しみや生きがいを持ち、喜びを感じられるようにする。

利用者の自宅や馴染みの場所へ家族と連絡を取り、リサーチして出かけた。利用者自身の生活歴をより知る機会となり、また家族との関係も築くことにつながった。在宅時代の地域の敬老会にお連れし、馴染みの人や同級生の方々と交流でき利用者に喜んでもらえた。

- (2) 利用者が日常的な介護が必要になっても、『したい事』をあきらめずに暮らすために、利用者ができる事やしている事を時間をかけてゆっくりと関わり、また利用者自身がやり続けられるように言葉をかけるようにする。

利用者や家族が自宅や馴染みの場所へ出かけたいという要望(したい事)に対しては支援ができた。しかし、普段の生活の中での『したい事』を引き出すことができず、結果として今後の改善点として感じた。言葉かけに関しても意識の薄い職員もあり適切でない言葉かけもあった。利用者ができることを職員が介助してしまい、利用者がやり続けることにつながらなかった場面もあった。

- (3) 利用者や家族が安心して暮らせるように、常に職員一人ひとは利用者の思いをくみ取り、優しく、丁寧で思いやりを持って利用者に接するようにし、自分の家族や同僚の家族に利用して欲しいと思える施設作りをする。

日々の業務に追われ、利用者の思いをくみ取ることはなかなかできなかったが、職員は優しく、丁寧で思いやりを持って利用者に接することができていた。適切な接し方ができていない場面には、その都度個別で指導していった。

- (4) 利用者がかけがえのない一人として暮らせるように、一日一日を大事にし、最期のその時に「自分の人生は幸せだった」と振り返られるよう、家族と一緒に利用者の生活を支える。また、職員は人生の集大成の大切な時間に関わっているという意識を持つ。

看取り時には、ケアサービス会議にて提供するケアの方向性、看取りに対する考え方の統一を図った。スタッフ同士で協議することでその方の歩んできた人生を知り、振り返る機会とし、より良いケアにつなげられた。また、面会に来た家族に対しては介護職、看護職、ケアマネなど連携しつつ状況説明やコミュニケーションをとり、心情理解に努めた。これらの取り組みを通じて大切な時間に関わっているという意識を持つことができた。

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホーム

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	0	0	60	522	915	1497
5 月	0	0	0	0	62	527	961	1550
6 月	0	0	0	0	30	540	930	1500
7 月	0	0	0	0	0	558	992	1550
8 月	0	0	0	0	0	536	1012	1548
9 月	0	0	0	0	0	510	979	1489
10月	0	0	0	0	0	496	1053	1549
11月	0	0	0	0	0	530	966	1496
12月	0	0	0	0	23	558	967	1548
1 月	0	0	0	0	30	574	943	1547
2 月	0	0	0	0	0	551	899	1450
3 月	0	0	0	0	0	557	992	1549
合計	0	0	0	0	205	6459	11609	18273

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	0	0	2	18	31	51
5 月	0	0	0	0	2	17	31	50
6 月	0	0	0	0	1	18	31	50
7 月	0	0	0	0	0	18	32	50
8 月	0	0	0	0	0	18	33	51
9 月	0	0	0	0	0	17	34	51
10月	0	0	0	0	0	16	35	51
11月	0	0	0	0	0	19	34	53
12月	0	0	0	0	1	18	32	51
1 月	0	0	0	0	1	19	31	51
2 月	0	0	0	0	0	19	31	50
3 月	0	0	0	0	0	19	32	51
合計	0	0	0	0	7	216	387	610

平成 27 年度 事業報告

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

【基本方針の総括】

その人らしく過ごせるよう、思いや希望を聞き取るために利用者のそばでじっくりと関わることができた。その関わりの中から得た情報を各種書類に記載し暮らしの継続に結び付けようとはしたが、なかなかその人らしい暮らしには至らなかった。しかし、家族と協力し過ごしやすい環境作りには努めることができた。

【努力目標に対する達成度、成果】

- (1) 利用者のこれまでの暮らしぶりや大事にしていることを知るために、じっくりと寄り添い関わりを深めることで、24時間シートを充実させ、よりその人らしい暮らしが継続できるようにする。

担当者を中心に利用者の生活を考えるための情報収集や意見交換の場で24時間シートを活用しているが、なかなか意見が出なかったりすることもあり、まだまだその人らしい暮らしの実現とまでは至っていない。しかし利用者に関わる時間も増えてきており、じっくりと接することはできた。

- (2) 利用者が家族や地域、馴染みの人との繋がりを大切にするため、家族と協力し、自宅で過ごす時間を持てるよう、地域の集いの場などに出かけるようにする。

家族と協力して自宅外泊や馴染みの場所へ出かける等、利用者の希望に沿う事が出来た。地域参加ではユニットカフェという活動を始め、地域の方々と交流の場を持った。利用者もユニットカフェで懐かしい方と会える機会が増え喜んでいた。しかし、こちらから地域に出向くアプローチが少なかった。

- (3) 利用者が馴染みの家具や大事にしていた物に囲まれ、安心して過ごせるように、家族と話し合い、協力しながら自宅にいるような雰囲気の家作りをする。

新入居の方に対しては、昔からの馴染みの物や必要な物をご家族と協力しながら雰囲気作りに努めた。しかし、その時だけで終わってしまい継続性がなかった。また居室だけでなく利用者がより安心して過ごせるフロア環境作りも必要だった。

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	30	0	150	150	570	900
5 月	0	0	31	0	154	197	537	919
6 月	0	0	0	0	180	223	496	899
7 月	0	0	0	0	155	279	493	927
8 月	0	0	0	0	153	311	465	929
9 月	0	0	0	0	150	270	478	898
10月	0	0	0	0	92	310	527	929
11月	0	0	0	0	144	245	505	894
12月	0	0	0	0	155	248	510	913
1 月	0	0	0	0	155	247	518	920
2 月	0	0	0	0	145	261	435	841
3 月	0	0	0	0	155	310	445	910
合計	0	0	61	0	1788	3051	5979	10879

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	1	0	5	5	19	30
5 月	0	0	1	0	5	8	19	33
6 月	0	0	0	0	6	8	17	31
7 月	0	0	0	0	5	9	17	31
8 月	0	0	0	0	6	11	15	32
9 月	0	0	0	0	5	9	16	30
10月	0	0	0	0	3	10	17	30
11月	0	0	0	0	5	9	17	31
12月	0	0	0	0	5	8	17	30
1 月	0	0	0	0	5	8	17	30
2 月	0	0	0	0	5	9	15	29
3 月	0	0	0	0	5	10	16	31
合計	0	0	2	0	60	104	202	368

平成27年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	6	開園記念日			
	15			喀痰吸引研修（15～16日）	
	17	総合避難訓練	高齢者福祉研究会 認知症について		
	24			日本在宅医学会（25～26日）	
	25				藤谷先生
5	28	法要法話			
	18			喀痰吸引研修（18～20日）	
	21	地震想定避難訓練	リスクマネジメントについて		
	25				加来先生
	27	法要法話			
6	27	チャレンジデー			
	30	家族交流会			
	4			県老施設長研修（4～5日）	
	10			喀痰吸引研修（10～12日）	
	15	龍桜高校看護科実習			実習生10名
7	23	火災想定避難訓練	人材育成について		
	25				藤谷先生
	29	法要法話			
	2	陵南幼稚園七夕交流			幼稚園児19名
	4	竹子みどりの少年団			
8	14	龍桜高校福祉科実習			実習生4名
	16	火災想定避難訓練			
	17		高齢者福祉研究会		
	23	陵南小教職員福祉体験	看取り介護について		
	24				和太鼓部員5名
9	25	神村学園和太鼓部交流			
	28			看護協会研修	
	29	法要法話			加来先生
	3	国際大SW実習			実習生1名
	5				
10	6			地区老看護職員研修	
	11	職員健康診断		ファーストステップ研修	
	18	仁心看護専門学校実習		喀痰吸引研修	
	24	火災想定避難訓練			実習生18名
	26			県老介護技術研修	
11	27		職場内事例発表会		
	28	法要法話			藤谷先生
	1	加治木看護専門学校実習	一次救命蘇生研修（全4回）		実習生19名
	4			他職種協働研修会	
	8				
12	14	龍桜高校福祉科実習			実習生4名
	15	介護相談員来園			介護相談員2名
	16	火災想定避難訓練			
	20	敬老祝賀会			
	23	法要法話			加来先生
1	24	ユニットカフェ			
	25		感染症予防について		
	11			全国の集いin北海道（～12日）	
	16		高齢者福祉研究会		
	19			ノーリフト研修会（～20日）	
2	22	ユニットカフェ			
	23		倫理・法令順守について		
	26	法要法話			藤谷先生
	4			ファーストステップ研修	
	18	火災想定避難訓練			

11	24 26	法要法話 ユニットカフェ	コミュニケーションについて	人権擁護と職場の問題解決	加来先生
12	5 8 16 24 25 26	玉利棒踊り保存会 火災想定避難訓練 ユニットカフェ クリスマス子ども会	 身体拘束廃止について	 地区老介護職員研修	玉利棒踊り保存会 子ども達
1	15 18 22 27	 火災想定避難訓練 法要法話	高齢者福祉研究会 嚥下、咀嚼について		 加来先生
2	4 10 23 24 26	夜勤者健康診断 火災想定避難訓練	 新年度目標発表会 パーソンセンタードケア	地区老相談員研修会	
3	22 23 25 28	火災想定避難訓練 法要法話 馬踊り来園	 職場内事例発表会		加来先生 馬踊り連

平成 27 年度統計資料及び添付資料

< 1 > 利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在の住所地)

年齢 出身地	性 別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	0	0	1	1	3	1	0	0	6	42
	女	2	1	4	8	6	10	4	1	36	
国分市	男	0	0	0	1	1	0	0	0	2	4
	女	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
隼人町	男	0	1	0	1	4	1	0	0	7	17
	女	0	1	0	2	2	3	2	0	10	
横川町	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5
	女	0	0	1	1	1	0	1	0	4	
霧島町	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
牧園町	女	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
福山町	女	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
始良市	男	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4
	女	0	0	0	0	1	0	1	1	3	
鹿児島市	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
伊佐市	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
龍郷町	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
計		2	4	7	18	20	18	9	2	80	
平均年齢		86.6 歳		最高年齢		102 歳 5 月		最少年齢		67 歳 0 月	
男 性		83.6 歳		男 性		93 歳 11 月		男 性		74 歳 8 月	
女 性		87.6 歳		女 性		102 歳 5 月		女 性		67 歳 0 月	

< 2 >施設利用状況

事業所名		フラワーホーム			フラワーホームユニット			ショートステイ		
月	日数 (日)	日数× 50 人	入居 延べ数	稼働率	日数× 30 名	入居 延べ数	稼働率	日数× 20 名	利用 延べ数	稼働率
4 月	30	1,500	1,497	99.8%	900	900	100%	600	525	87.5%
5 月	31	1,550	1,550	100%	930	919	98.8%	620	555	89.5%
6 月	30	1,500	1,500	100%	900	899	99.8%	600	483	80.5%
7 月	31	1,550	1,550	100%	930	927	99.6%	620	548	88.3%
8 月	31	1,550	1,548	99.8%	930	929	99.8%	620	517	83.3%
9 月	30	1,500	1,489	99.2%	900	898	99.7%	600	504	84.0%
10 月	31	1,550	1,549	99.9%	930	929	99.8%	620	510	82.2%
11 月	30	1,500	1,496	99.7%	900	894	99.3%	600	358	59.6%
12 月	31	1,550	1,548	99.8%	930	913	98.1%	620	453	73.0%
1 月	31	1,550	1,547	99.8%	930	920	98.9%	620	488	78.7%
2 月	29	1,450	1,450	100%	870	841	96.6%	580	511	88.1%
3 月	31	1,550	1,549	99.9%	930	910	97.8%	620	559	90.1%
合計	366	18,300	18,273	99.8%	10,980	10,879	99.0%	7,320	6,011	82.1%

*小数第 2 位以下切り捨て

< 3 >介護度の状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

性別	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護度
男	0	0	0	6	13	19	4.68
女	0	0	5	21	35	61	4.49
計	0	0	5	27	48	80	4.53

< 4 >要介護認定更新の推移

	年齢	性別	前回介護度	今回介護度	結果
フラワーホーム	80 歳	女性	4	5	進行
	67 歳	女性	4	4	維持
	87 歳	女性	3	4	進行
	92 歳	女性	4	4	維持
	96 歳	女性	5	5	維持
	77 歳	女性	3	4	進行
	97 歳	女性	4	5	進行
	88 歳	女性	4	4	維持
	88 歳	男性	5	5	維持
	95 歳	女性	5	5	維持
	93 歳	男性	4	4	維持
	87 歳	女性	5	5	維持
	88 歳	女性	4	5	進行
	84 歳	女性	5	4	改善
	81 歳	男性	4	5	進行
	85 歳	女性	5	5	維持
	86 歳	女性	4	4	維持
	82 歳	女性	5	5	維持
	81 歳	男性	5	5	維持
	90 歳	女性	4	4	維持
	83 歳	女性	5	5	維持
	88 歳	女性	4	5	進行
	80 歳	男性	4	4	維持
	81 歳	男性	5	5	維持
	82 歳	女性	5	5	維持
	83 歳	女性	5	5	維持
	96 歳	女性	4	4	維持
	87 歳	女性	4	4	維持
	89 歳	女性	5	5	維持
ユニット	76 歳	女性	5	5	維持
	74 歳	女性	3	4	進行
	92 歳	男性	5	5	維持
	87 歳	女性	1	3	進行
	76 歳	男性	4	4	維持
	84 歳	女性	3	4	進行
	89 歳	男性	5	5	維持
	94 歳	女性	3	3	維持

	88 歳	男性	5	4	改善
	73 歳	男性	3	5	進行
	89 歳	男性	3	4	進行
	86 歳	男性	5	5	維持
	84 歳	女性	4	3	改善
	94 歳	女性	4	4	維持
	100 歳	女性	5	4	改善
	67 歳	女性	5	5	維持
	88 歳	女性	5	4	改善
	74 歳	男性	5	5	維持
	99 歳	女性	5	5	維持
		介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
フラワーホーム		21 名	7 名	1 名	3%
フラワーホームユニット		10 名	5 名	4 名	21%
合 計		31 名	12 名	5 名	10%

*平成 27 年度、介護保険更新認定 80 名中 48 名の結果

< 5 > 退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホーム	96 歳	女性	平成 27 年 4 月 13 日	死亡
	88 歳	女性	平成 27 年 8 月 10 日	死亡
	73 歳	男性	平成 27 年 9 月 18 日	死亡
	88 歳	女性	平成 27 年 10 月 26 日	死亡
	83 歳	男性	平成 27 年 11 月 3 日	死亡
	93 歳	女性	平成 27 年 11 月 6 日	死亡
	83 歳	男性	平成 27 年 11 月 11 日	死亡
	86 歳	女性	平成 27 年 12 月 6 日	死亡
	94 歳	女性	平成 28 年 1 月 13 日	死亡
	93 歳	女性	平成 28 年 3 月 12 日	死亡
ユニット	90 歳	男性	平成 27 年 5 月 1 日	死亡
	91 歳	女性	平成 27 年 5 月 5 日	死亡
	74 歳	男性	平成 27 年 5 月 9 日	死亡
	85 歳	女性	平成 27 年 6 月 16 日	死亡
	93 歳	女性	平成 27 年 7 月 10 日	死亡
	92 歳	女性	平成 27 年 8 月 1 日	死亡
	86 歳	女性	平成 27 年 8 月 23 日	死亡
	102 歳	女性	平成 27 年 11 月 5 日	死亡
	67 歳	女性	平成 28 年 3 月 28 日	長期入院
		退所者数	看取り介護数	施設看取り率
フラワーホーム		10 名	10 名	100%
フラワーホームユニット		9 名	8 名	88%
合 計		19 名	18 名	94%

< 6 > 事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	窒息	その他
18	39	8	26	6	1	20

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
32	66	7	10	3	0	0

(発生時間帯)

深夜 0 : 00～4 : 00	早朝 4 : 00～8 : 00	午前 8 : 00～12 : 00	午後 12 : 00～16 : 00	夕方 16 : 00～20 : 00	夜間 20 : 00～0 : 00
10	17	22	30	33	6

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
92 歳 男性 (ショートステイ)	窒息	夕食介助時、嘔吐。口腔内の食物及び嘔吐物をかき出し、背部タッピング。気道確保、心マッサージ、吸引等行った。対象者、死亡。家族へ状況の説明を行い、保険者へ連絡。
83 歳 女性 (ショートステイ)	転倒	夜間、一人でトイレに行きベッドまで戻る途中に転倒。右大腿骨頸部骨折の診断。家族へは説明と謝罪を行った。保険者へ連絡。
92 歳 女性 (多床室)	不明	右ひざの痛み訴え嘱託医に診察してもらい様子観察。しかし、1週間ほど痛みがとれず整形外科受診。右大腿骨頸上骨折の診断。家族へは説明と謝罪、医療費負担を行った。保険者へ連絡。
85 歳 男性 (ユニット)	介護ミス	ベッドから転落しそうになっているのを夜勤者が発見し、寝かせ直す。朝方、右脚の腫れを早出の職員が見つけ看護職に報告。嘱託医の指示で整形外科受診。右大腿骨頸上骨折の診断。家族へは説明と謝罪、医療費負担を行った。保険者へ連絡。
88 歳 女性 (ユニット)	転落	入浴後の着衣介助中に介護者がタオルを取ろうと後ろを向いた時にシャワーチェアから転落。嘱託医の診察後、整形外科受診。右鎖骨骨折の診断。家族へは説明と謝罪、医療費負担を行った。保険者へ連絡。

< 7 > 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
入居者家族	感染症流行の時期となり、面会等が制限される可能性があるが、面会できないと淋しいのでどうにかして欲しい	感染症まん延防止マニュアルを見直し、なるべく面会ができるように対応した。案内文等家族に発送し理解いただいた。
ショート利用者家族	事業所に電話をかけたが、「フラワーホームではありません」と2度も電話を切られた。どうなっているのか？	家族に対して謝罪を行いご理解いただいた。*担当ケアマネから精神疾患のある家族なので番号を間違ったのではとの話しあり。
入居者家族	請求書を確認すると「散髪代」が請求されていたが、面会をした感じでは散髪をしたようには思えなかった。事実確認をして欲しい。	散髪自体はなされていた。出入り美容室に相談し、カットのやり直しを相談したところ引き受けて頂いた。家族に連絡しご理解いただいた。
ショート利用者家族	利用中に足の痛みを訴え、病院に搬送された。その後、いつから痛みがあったのか報告をもらうようになっていたが報告がない。どうなっているのか？	報告が遅れたことを謝罪し、状況について詳しく説明をした。ご理解いただいた。

< 8 > 職員数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	栄養士 管理栄養士	歯科衛生士	調理員	企画室	総務
1	5	1	51 (15)	5 (1)	3	1	1	4	2 (2)	3 (3)	2	6 (6)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 51 名中「介護福祉士」有資格者 38 名

* 看護職員 5 名中「看護師」2 名「准看護師」3 名

* 栄養士 4 名中「管理栄養士」2 名「栄養士」2 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務に従事、総務員 6 名中 2 名は障害者雇用

< 9 > 入職者数

職種 \ 年代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	2	4	4	2	0	12
うち介護福祉士	1	2	2	2	0	7
機能訓練指導員	0	0	0	1	0	1
調理員	0	0	1	0	0	1
歯科衛生士	0	0	1	0	0	1
計	2	4	6	3	0	15

< 10 > 退職者数

性別 / 年代	在職期間	職種
女性 50 代後半	3 ヶ月	介護職員（非常勤）
女性 60 代前半	2 年 1 ヶ月	介護職員（非常勤）
女性 40 代前半	2 年 10 ヶ月	介護職員（非常勤）
男性 40 代前半	5 年 2 ヶ月	介護職員（非常勤）
女性 40 代後半	5 年 3 ヶ月	介護職員（非常勤）
男性 30 代前半	1 年 9 ヶ月	作業療法士（正社員）
女性 50 代前半	6 ヶ月	調理員（非常勤）

* 介護職員の平成 27 年度離職率 9.8% （平成 27 年 4 月 1 日在職者 51 人を分母）

* 介護職員の 3 年以内の離職率 12% （平成 27 年 4 月 1 日時に入職 3 年以内の 25 人を分母）

平成 27 年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【基本方針の総括】

アセスメントにより利用者の心身の状態や暮らしの意向を理解し、過剰介護にならないよう自立支援を心がけ、活動への動機づけを行った。多様なレクリエーションメニューを企画・準備し、大集団、小集団、個別的に行い、皆が満足できる一日を過ごしてもらえるようミーティングを行った。また、買い物・外出・地域の行事の参加など、社会参加に係るレクプログラムも行い、利用者の反応も良く、また行きたいとの声も多かった。

今年度は5年ぶりに家族会を開催し、14家族が参加した。家族が普段の悩みを吐き出す機会となり、また理事長による認知症の講話によって介護者の介護負担軽減の力となった。

【努力目標に対する達成度、成果】

(1) 自立支援 ～生活機能改善のために～

利用者の残された能力を引き出せるよう、一人ひとりを尊重し、思いやりを持ってケアを行っていく。個別機能訓練の充実を図り、自宅での生活に効果が期待できる訓練を行う。

利用者の表情や体調を見ながらできる事への参加の言葉かけを行い、介護予防体操や機能訓練、レクリエーションの参加を促せた。自宅での生活に効果が期待できるように、膝・腰痛予防、転倒予防、筋力低下予防を重視した訓練プログラムや、可能な限り元気に長い距離を歩き続けられるように音楽に合わせた歩行練習も継続して行えた。しかし、単調なプログラム内容では慣れや飽きがくるため、今後も工夫を凝らして行っていく必要がある。

身体介護では、食事動作や排泄動作、移動・移乗動作では利用者に応じた支援を行えた。入浴動作や特に脱衣動作では、利用者に合わせた個別的な誘導方法を職員間で共有しているが、利用者が多い日は時間に追われ思うようなケアができなかった。2月には福祉サービスの質の向上や職員の意識改革・意欲の向上のため、福祉サービス第三者評価を受審した。自己評価や他者評価を通じて、基本的なサービスや取組を問い直し、サービスの改善点や課題の共有化ができた。

(2) 一日一笑

利用者の笑顔を引き出せるように職員は接し、一日一回でも笑っていただけるよう支援する。

積極的に利用者に関わりを持ち表情観察や言葉かけを行った。気持ちに寄り添う事で、利用者の安心した笑顔が見られた。また、デイサービスが楽しい、待ち遠しいという声も多くある。しかし、利用者が多い日は全員に行き届いていたとは言えず、今後も皆で意識を持って接していく必要がある。

(3) 連携

報告・連絡・相談をしっかりと行い、家族・ケアマネジャー・関係機関と連携を図り、支援する。介護保険制度の変更に伴い内部研修の充実を図る。

27年度は新体制で始まった年度であったため、6月に新規利用者の初回利用時に迎えを忘れるという重大なミスを起こしてしまった(苦情参照)が、事業所内の報告・連絡・相談を確実に行っていくためにどうすればよいか考える機会となり、それ以後は今まで以上に皆でカバーし合うよう意識が変わり、日常の報告・連絡・相談やケアサービス会議の内容も「利用者の情報共有」について行えた。他事業所(居宅等)へは随時報告・相談し、家族へは連絡帳、メモ、ケアマネを通して連絡を行えた。しかし、家族会で感じたが、より家族との関わりや、地域との関わりをもっと増やしていく必要がある。

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	62	65	211	158	170	28	0	694
5 月	60	55	212	162	165	40	0	694
6 月	56	57	211	173	155	48	0	700
7 月	53	70	220	178	150	39	0	710
8 月	59	73	215	173	147	33	0	700
9 月	67	96	212	158	127	35	0	695
10月	50	103	231	159	129	35	0	707
11月	52	107	204	151	145	14	13	686
12月	49	122	230	142	171	15	13	742
1 月	40	99	200	157	151	12	4	663
2 月	55	119	243	172	148	22	8	767
3 月	49	141	240	173	141	44	0	788
合計	652	1107	2629	1956	1799	365	38	8546

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	17	9	25	17	16	5	0	89
5 月	15	7	26	18	13	6	0	85
6 月	14	7	27	18	12	7	0	85
7 月	13	8	25	19	11	7	0	83
8 月	15	10	27	18	10	5	0	85
9 月	16	12	26	17	10	5	0	86
10月	13	15	25	18	10	6	0	87
11月	13	15	24	16	11	3	1	83
12月	13	16	26	15	12	3	1	86
1 月	12	15	27	16	12	4	1	87
2 月	14	16	27	18	11	5	1	92
3 月	12	19	24	18	12	6	0	91
合計	167	149	309	208	140	62	4	1039

平成 27 年度統計資料及び添付資料

< 1 > ヒヤリハットの状況

(種別)

意識低下 消失	異食	衝突	つまずき ふらつき	危険予測	むせ込み
6	1	2	10	7	2

失物品	送迎ミス	送迎車	閉じ込め	利用者の行為
2	2	1	1	2

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	車内	玄関	屋外	その他
8	5	4	2	2	1	4	6	1	3

(発生時間帯)

朝迎え時 8 : 30～9 : 30	午前 9 : 30～12 : 00	午後 12 : 00～15 : 45	夕送り時 15 : 45～16 : 45
5	17	8	6

< 2 > 事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
8	3	2	1	2

(発生場所)

ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車内	玄関	自宅
3	4	2	3	2	1	1

(発生時間帯)

朝迎え時 8 : 30～9 : 30	午前 9 : 30～12 : 00	午後 12 : 00～15 : 45	夕送り時 15 : 45～16 : 45
0	6	9	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
86 歳 男性	転倒	床上にある足つぼマットを取ろうとかがんだらバランスを後方へ崩し転倒。かがむ時に他利用者の歩行器があり、手だけを伸ばしてマットを取ろうとしバランスを崩しやすい状態であった。看護師による状態確認後、いつもより痛みが強い程度との事であったが、帰宅後本人が病院受診され、圧迫骨折の診断を受け入院となる。保険者へ連絡。

< 3 > 車両事故

物損（謝罪）	物損（補償）	自車のみ	対向車
3	1	5	0

< 4 > 苦情・相談・意見について

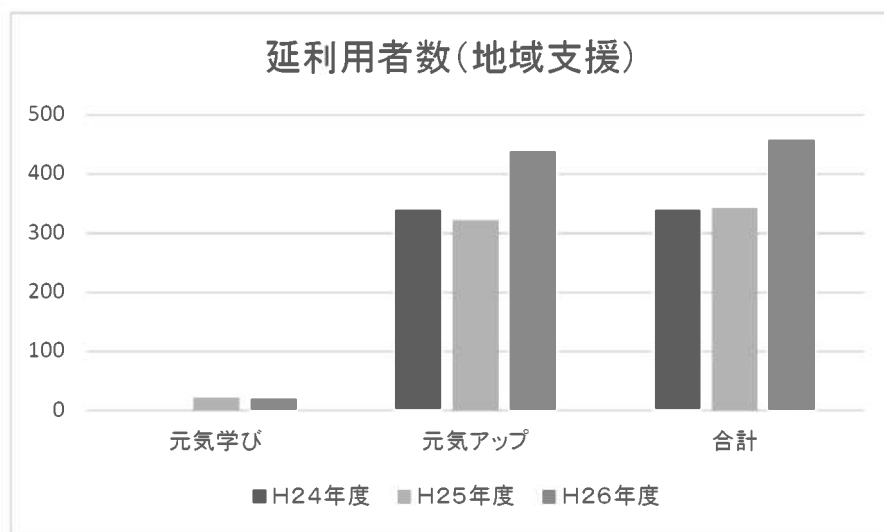
申し出人	意見概要	対応
利用者家族	本日からデイサービス利用予定であったが、なぜ迎えにきてくれなかったのか？	電話を受け付け直接謝罪したい旨を伝え、副園長に報告。利用者宅へ副園長・リーダーで訪問し謝罪。事前に担当者会議に出席し、結果を終礼で伝達していたが、利用開始日を事業所側が連絡ボード（登録者名簿）や配車板、食札等に名前を記載していなかった。完全に非がある旨を謝罪し、何とか納得をもらい次回の利用日からお願いしたいとの事。
利用者家族	「デイの日は車をどけてほしい」と強い口調で職員に言われ、その日は一日嫌な気分でも過ごした。後日、送迎にきた別の職員に、状況を伝えたが、その後何も対応してくれなかった。	担当ケアマネが家族から話を聞き、デイサービスに苦情として連絡。リーダーが該当職員から話を聞き、電話連絡後、自宅に謝罪に行った。家族は「わかってくれたらそれでよい。今後気をつけてくれればいい。」との事で納得してもらった。

平成27年度 実績集計表（地域支援）

デイサービスセンター

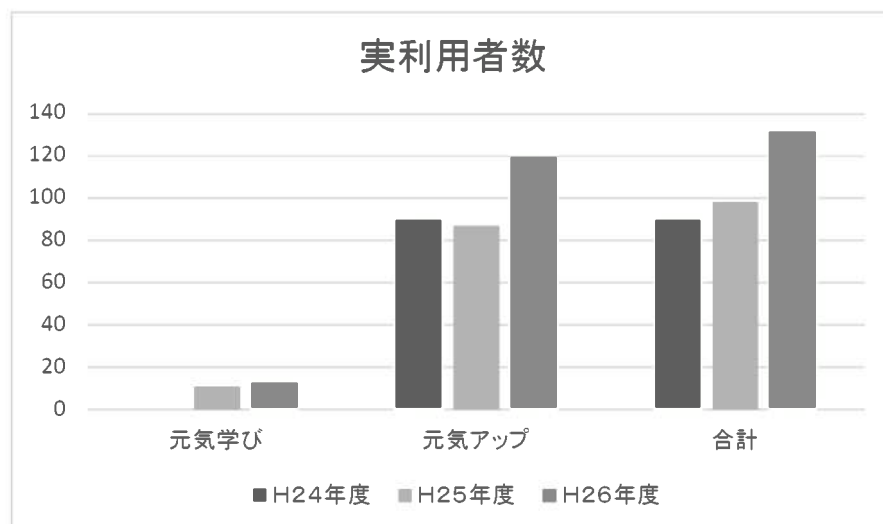
延利用者数

	元気学び	元気アップ	合計
H24年度	0	338	338
H25年度	21	321	342
H26年度	19	437	456
H27年度	0	436	436



実利用者数

	元気学び	元気アップ	合計
H24年度	0	89	89
H25年度	11	87	98
H26年度	12	119	131
H27年度	0	114	114

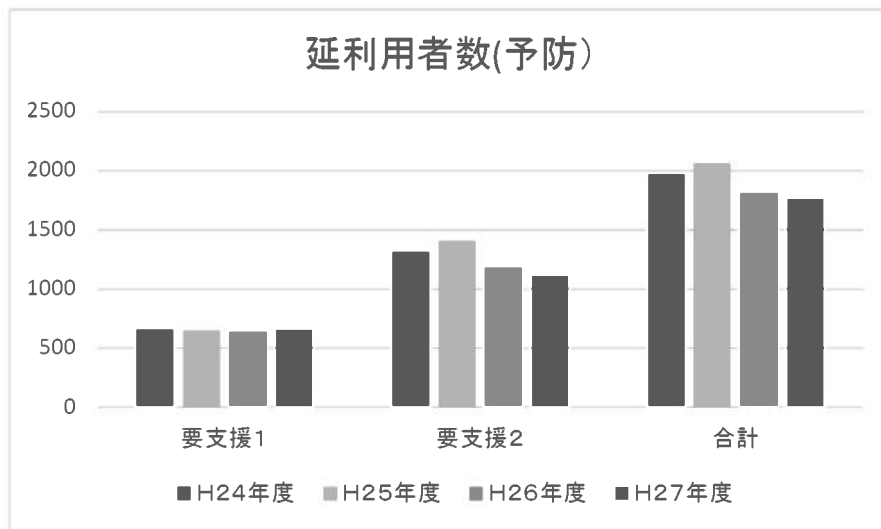


平成27年度 実績集計表（予防）

デイサービスセンター

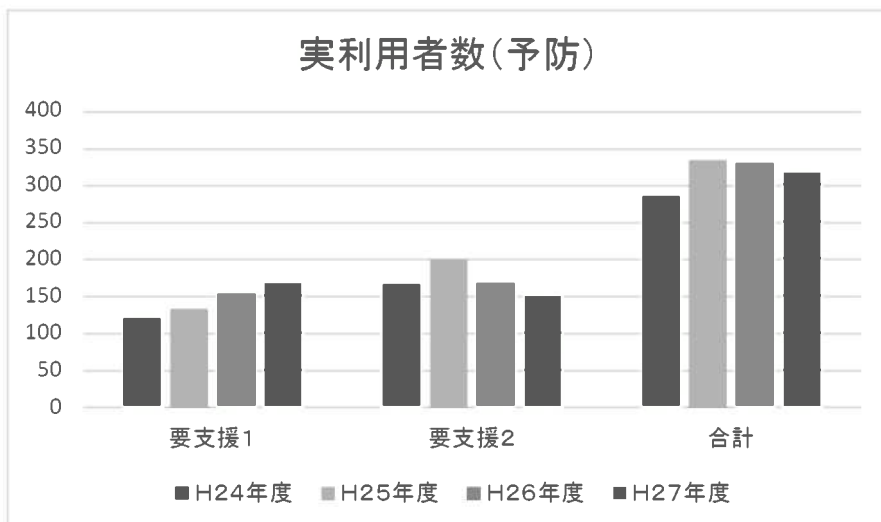
延利用者数

	要支援1	要支援2	合計
H24年度	653	1311	1964
H25年度	651	1408	2059
H26年度	629	1173	1802
H27年度	652	1107	1759



実利用者数

	要支援1	要支援2	合計
H24年度	119	165	284
H25年度	133	201	334
H26年度	152	167	329
H27年度	167	149	316

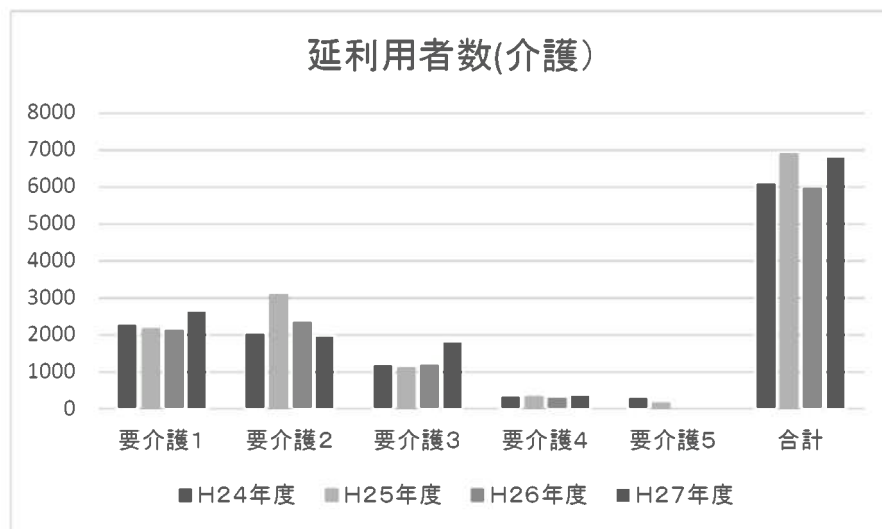


平成27年度 実績集計表（介護）

デイサービスセンター

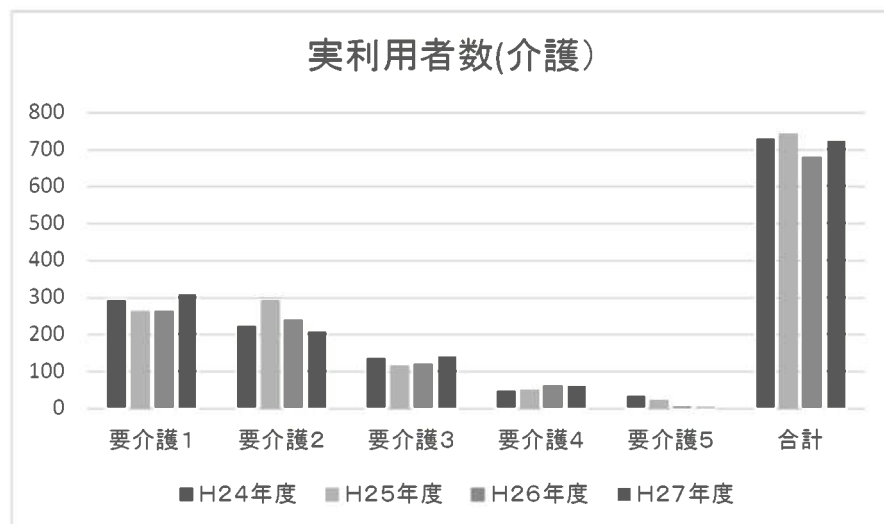
延利用者数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
H24年度	2260	2021	1176	326	294	6077
H25年度	2182	3100	1119	339	169	6909
H26年度	2118	2343	1173	284	20	5938
H27年度	2629	1956	1799	365	38	6787



実利用者数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
H24年度	291	223	135	47	33	729
H25年度	263	293	116	50	23	745
H26年度	261	236	116	59	5	677
H27年度	309	208	140	62	4	723



平成27年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	日	外部研修	日	来訪者
4	さくら見物（論地長屋） 自己紹介レク 苗物買い（花安） カレンダー書き・体力測定	1 10 24	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会				
5	選択レク 母の日行事 介護者教室 グランドゴルフ カレンダー書き・体力測定	1 8 22	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会				
6	口の健康・食中毒 選択レク（文化系・体育系） 父の日行事 カレンダー書き・体力測定	1 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会			15 17 29	ボランティア（涼栄会） ボランティア（笑顔） ボランティア（華宝会）
7	七夕作り そうめん流し（竹仙峡） 選択レクリエーション 夏祭り カレンダー書き・体力測定	1 10 24	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	23 24 30	九社連研究大会（吉水） 集団指導（山下）		
8	買い物行事 盆団子作り 体を動かそう カレンダー書き・体力測定	3 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	5	看護職員研修会（福山）	24 28	高陵寺学童 高陵寺学童
9	DVD鑑賞 敬老会 ゲートボール ぶどう狩り カレンダー書き・体力測定	1 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	6	全国の集いin北海道2015 （札幌市）	2 7 8 9 11 12	ボランティア（華宝会） ボランティア（秋月様） ボランティア（涼栄会） ボランティア（みすず会） 照明保育園児 高陵寺学童
10	選択レク 運動会 秋の音楽会 カレンダー書き・体力測定	1 9 16 23	リーダー会議 ケアサービス会議 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会	20 毎週 火 29	アセッサー集合講習（山下） 認知症介護実践者研修（福山） 感染症予防対策研修会（救仁郷）		
11	ミステリーツアー お菓子作り 介護教室 カレンダー書き・体力測定	5 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	24 25	人権擁護と職場の問題解決研修会（一ノ宮）	9 21	ボランティア（笑顔） ボランティア（涼栄会）
12	手芸 忘年会 買い物行事 カレンダー書き・体力測定 ゆく年くる年	3 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	8	介護職員研修（片平）	7 12	ボランティア（秋月様） ボランティア（笑顔）
1	ゆく年くる年 神宮参拝・初笑い 正月遊び 新春グランドゴルフ大会 カレンダー書き・体力測定	4 13 27	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	20 21	職場内改善研修（山下）	29	介護ボランティア（宮路様）
2	節分・豆まき 茶話会 テーブルレクリエーション カレンダー書き・体力測定	4 10 17 25	リーダー会議 ケアサービス会議 第三者評価 在宅職員研修会	計 5 日	介護予防運動指導員研修（山下）	計 7 日	介護ボランティア（宮路様）
3	ひな祭り お菓子作り 工作（壁飾り作り） カレンダー書き・体力測定	2 9 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅職員研修会	16	在宅医療スキルアップ研修会（安楽）	14 15 16 17	ボランティア（笑顔） ボランティア（花鵬会） ボランティア（錦翔流） ボランティア（秋月様）

						18	ボランティア（涼栄会）
						14	実践者研修実習生
						26	ボランティア（小6二人）
						28	ニチイ実習生
						29	
						計	
						9	介護ボランティア（宮路様）
						日	

平成 27 年度 事業報告

フラワーホームホームヘルプサービス

【基本方針の総括】

訪問介護は、利用者の心身の状態に応じて適切なサービスを提供する。
住み慣れた自宅で、安心して暮らすことが出来る環境づくりに努める。

利用者、家族と話をしながら少しでも不安がなくなるように接し、自宅での
生活が継続できるようにしました。

【努力目標に対する達成度、成果】

(1) 笑顔で過ごしていただけるよう努力する。

〔 訪問時は、元気よく挨拶し、話しをした。 〕

(2) 気持ちに寄り添い、今までの生き方そのままに過ごしていただけるよう努める

〔 出来ることはしてもらい、今までの生活のリズムを壊さないようにした。 〕

(3) 介護に関わる人々のつながりを重視し、質の高いサービスを提供するためにお互いの意思疎通をスムーズにする。

〔 利用者に対しても細かなこと、気になった事を報告した。
他部署との連携またヘルパー同士での横のつながりも重視し円滑なサービス提供に努めた。 〕

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームホームヘルプサービス

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	33	68	247	161	257	79	3	848
5 月	28	56	239	175	232	123	3	856
6 月	29	53	217	192	230	118	3	842
7 月	40	60	212	220	218	119	3	872
8 月	36	55	209	220	213	95	3	831
9 月	32	54	181	270	190	79	10	816
10月	34	61	181	285	155	77	3	796
11月	32	56	174	289	184	24	33	792
12月	25	54	183	293	207	1	33	796
1 月	19	47	171	281	162	10	11	701
2 月	27	43	186	304	139	39	3	741
3 月	17	54	201	335	150	23	3	783
合計	352	661	2401	3025	2337	787	111	9674

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	6	11	18	10	12	5	1	63
5 月	5	9	17	11	11	6	1	60
6 月	5	8	15	13	11	5	1	58
7 月	6	8	14	14	10	5	1	58
8 月	6	8	15	16	9	5	1	60
9 月	5	8	13	17	9	3	2	57
10月	5	9	12	18	7	3	1	55
11月	5	9	12	17	9	2	2	56
12月	5	8	14	17	8	1	2	55
1 月	4	7	15	16	7	1	2	52
2 月	4	7	16	18	6	2	1	54
3 月	3	7	16	18	6	2	1	53
合計	59	99	177	185	105	40	16	681

平成 27 年度 事業報告

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【基本方針の総括】

利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談・助言を行うように心がけた。利用者の心身の状況や置かれている環境に応じて、利用者及び家族の意思により、適切な保健医療サービス及び福祉サービス等が行われ、総合的且つ効率的なサービス提供がなされるよう配慮し取り組んだ。職員の異動等による担当交代で新たな視点からのアセスメントや、定期的なミーティングにより、職員間での課題を共有することで本人、家族との信頼関係作りに努めた。今後も定期的なミーティングを継続し、他機関や関係者、多職種との連携を図り、本人、家族に安心してもらえる対応を心がけていく。

【努力目標に対する達成度、成果】

- (1) 利用者が住み慣れた地域で安心して可能な限り在宅生活が送れるように、ニーズを適切に把握し、医療や介護、関係機関と連携を図っていく。

住み慣れた地域で安心して生活できるように、適切にニーズを把握して必要なサービスの調整、提供を行い支援した。16 名の方が施設入所や小規模多機能施設利用となり担当が離れ、9 名の方が他界した。主治医や各事業所と連携を図り、自宅や短期入所利用により本人、家族が満足できる最期を迎えてもらえた。

- (2) 利用者に分かり易く丁寧な説明を行い、サービスを自己選択できるように情報提供を行う。

職員自身が事業所を見学するなど情報を収集し、公平、中立の立場を常に意識しながら、本人や家族が理解を得易く自己選択できるよう、必要なサービスの資料等を使用しながら説明を行った。

- (3) 介護保険制度改正への迅速な対応と理解を深める為に、内部研修の充実、外部研修へ積極的に参加して行く。

外部研修への参加や内部研修を定期的に行い制度改正の理解に努めた。また新人ケアマネ育成も兼ね、共に積極的に勉強を行い自己研鑽にて知識を深めた。

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホーム居宅介護支援事業所

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	5	2	48	32	25	11	3	126
5 月	5	2	48	32	26	12	3	128
6 月	5	2	48	32	24	11	4	126
7 月	5	5	45	35	26	13	4	133
8 月	4	4	45	36	23	13	5	130
9 月	4	4	48	35	21	11	5	128
10月	3	6	45	35	22	9	3	123
11月	2	6	45	36	24	7	3	123
12月	2	6	45	37	25	6	2	123
1 月	2	6	45	36	19	8	2	118
2 月	2	4	42	35	19	8	2	112
3 月	2	4	38	36	19	9	2	110
合計	41	51	542	417	273	118	38	1480

年度別

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
24年度	14	53	437	345	225	114	84	1272
25年度	33	61	376	412	225	104	67	1278
26年度	48	47	480	394	260	133	39	1401
27年度	41	51	542	417	273	118	38	1480
合計	136	212	1835	1568	983	469	228	5431

年齢別 (H28.3)

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
70～74男			1				1	2
女								
75～79男		1	2	3	1	2		18
女	1		3	4		1		
80～84男		1	2	6	3			27
女			6	4	3	2		
85～89男			6	2	2	2		35
女			11	5	5	1	1	
90～94男		1	2	1		1		23
女	1	1	4	8	4			
95～男								5
女			1	3	1			
合計	2	4	38	36	19	9	2	110

平成27年度 行事及び研修実績表

フラワーホーム居宅介護支援事業所

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4			1 13 24	リーダー会議 管理者会議 在宅部門職員研修会	28	県労協総会
5			1 9 22	リーダー会議 居宅内勉強会 在宅部門職員研修会		
6			1 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会	5	施設長研修会
7			1 2 17 24	リーダー会議 居宅内勉強会 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会		
8			3 13 25	リーダー会議 居宅内勉強会 在宅部門職員研修会	18. 19	地域支援事業研修
9			1 9 25	リーダー会議 居宅内勉強会 在宅部門職員研修会		
10			1 16 23	リーダー会議 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会		
11			5 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
12			3 16 25	リーダー会議 居宅内勉強会 在宅部門職員研修会		
1			4 15 15	リーダー会議 居宅内勉強会 高齢者福祉研究会		
2			4 5 25	リーダー会議 居宅内勉強会 在宅部門職員研修会	19	県介護支援専門員研修
3			2 16 25	リーダー会議 事業所連絡会 在宅部門職員研修会	18 26	保険医療介護関係者研修 在宅医療介護福祉研修

平成 27 年度 事業報告

地域包括支援センター溝辺支所

【基本方針の総括】

高齢者の生活を支えていく為に、各専門職や機関と連携を行いサービス利用に繋げる支援や、虐待対応など行った。行政、包括と共に新総合事業に向けて取り組みを進めているが、地域住民への周知までは至らない状況である。地域の課題など、実情把握に向けた住民参加の地域ケア会議を横川地区で行った。溝辺地区は現在、各公民館長に協力をもらいアンケートを全世帯配布している。

町内の孤独死は死後数日の発見が 2 件と、事業所からの連絡にて警察、行政と同行訪問し 1 件早期発見した。

【努力目標に対する達成度、成果】

(1) 地域に出向き権利擁護等の広報と啓発活動を行い予防的支援に努める。

地域支援事業の広報を訪問時に行った。総合プログラム事業も 18 名の参加を得る事が出来た。本所の職員と共に、民生委員、福祉アドバイザー、町内 2 ヶ所の事業所に広報、啓発活動を行った。

(2) 機関との連携により必要なサービスが速やかに利用できるように対応する。

介護保険未申請の方などサービスが必要な方に、各事業所や関係機関と連携を行い支援した。サービスの導入に拒否的な方に対しては、行政等と共に定期的な状態把握を行った。

(3) 専門職としての各制度の理解を深め、相談者へ安心を与える助言により信頼関係を作る。

包括全体で行政を含めた各専門職の部会を持ち、定期的に研修を行った。総合相談の窓口として知識や制度の理解に努め、相談者へ不安を与えない態度を心がけ対応した。

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

地域包括支援センター溝辺支所

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	新規	継続	給付合計	実態調査	地域プラン
4 月	17	24	3	38	41	15	2
5 月	17	22	1	38	39	25	0
6 月	17	23	1	39	40	16	3
7 月	18	20	1	38	39	13	6
8 月	17	26	2	41	43	6	2
9 月	17	27	1	43	44	9	1
10月	18	27	1	44	45	7	2
11月	18	27	1	44	45	14	11
12月	19	27	1	45	46	3	2
1 月	16	26	0	42	42	10	4
2 月	17	25	0	42	42	7	3
3 月	16	27	2	41	43	9	2
合計	207	301	14	495	509	134	38

平成27年度 行事及び研修実績表

地域包括支援センター溝辺支所

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	6 17 23	包括業務連絡協議会 圏域別地域ケア会議 運営推進会議GHみぞべ	1 24	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
5	7 18. 22 19 25. 27	包括業務連絡協議会 虐待対応地域ケア会議 霧島市・包括連絡協議会 6期事業計画会議	1 22	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
6	2 3 5 10 18 19 26	三市連絡協議会 虐待対応地域ケア会議 包括業務連絡協議会 権利擁護部会 霧島市入所判定委員会 圏域別地域ケア会議 運営推進会議GHみぞべ	1 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
7	5 5 10 23	包括業務連絡協議会 権利擁護部会 虐待対応地域ケア会議 生活支援センター合同部会	1 17 24	リーダー会議 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会		
8	5 10 20 21	包括業務連絡協議会 虐待対応地域ケア会議 霧島市入所判定委員会 圏域別地域ケア会議	3 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会	18. 19	地域支援事業研修会
9	4 8 10 15. 28 17. 24	包括業務連絡協議会 在宅アドバイザー研修 生活支援センター合同部会 権利擁護部会 圏域別地域ケア会議	1 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
10	5 5. 26 15 16 23 27 30	包括業務連絡協議会 権利擁護部会 連絡協議会 圏域別地域ケア会議 運営推進会議GHみぞべ 運営推進会議GHよいやんせ 主任ケアマネ指導力強化事業	1 16 23	リーダー会議 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会	9	包括・在介職員研修
11	5 6. 16 13 27	包括業務連絡協議会 権利擁護部会 生活支援センター合同部会 横川地域ケア会議	5 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
12	2 4 9. 11. 14 14 18	総合プログラム開始 包括業務連絡協議会 虐待対応地域ケア会議 権利擁護部会 運営推進会議GHみぞべ	3 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
1	15 22 29	生活支援センター合同部会 圏域別地域ケア会議 主任ケアマネ指導力強化事業	4 15 27	リーダー会議 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会		
2	5 19. 26 25 26	包括業務連絡協議会 圏域別地域ケア会議 主任ケアマネ指導力強化事業 運営推進会議GHみぞべ	4 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会	29	包括・在介職員研修
3	1. 18 4 11. 14. 28 11 11	圏域別地域ケア会議 包括業務連絡協議会 権利擁護部会 生活支援センター合同部会 家族交流会会議	2 16 25	リーダー会議 山陵会事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会		

平成 27 年度 事業報告

デイサービス 白梅

【基本方針の総括】

デイサービス白梅では事業所内の利用者の様子だけでなく、自宅での生活が安心して過ごせているかという点にも留意しながら家族や担当ケアマネらと連携してきた。利用者からは日々、皆で食事をする事、安心して入浴や着替えが出来る事、自身の疾患や体調に配慮して活動が選択できる事などがありがたいと言ってもらえた。季節の行事やレクリエーションは可能な限り利用者と相談し希望を取り入れ、献立や手作りおやつも利用者からも教わりながら実施でき達成感を味わうことが出来た。

一方で認知症や老人性のうつ、気分障害等を持つ方もおり、気分の浮き沈みや身体症状、怒りの表出などへの対応の難しさを感じる場面もあり、より専門性を持った関わり・チーム作りが今後の課題である。

【努力目標に対する達成度、成果】

- (1) 利用者の希望を取り入れたレクリエーションや行事を実践し、楽しみや充実感を得られるようにする。

利用者が歩んできたこれまでの生活歴等に目を向け、関わりを多く持てた。年齢を重ね変化していく気持ちの表出を促しながらレクリエーションや行事に反映出来た。

- (2) 安全の確保に十分に配慮した体制の整備・運営を行う。

前年度に比べ徐々に ADL 低下がみられる利用者もあり、ソフト・ハード面の両方から検討を繰り返し対応できた。予測出来る事は事前に対応し重大事故に繋がらないように対策できた。

- (3) 認知症高齢者への理解をさらに深め、個々に適した関わり方をチームで検討しながら実践する。

軽度～中等度の認知症の方が多く利用されるなか、安心できる環境作り、関係性の構築をチームとして目指してきた。戸惑いや、対応に困る場合もあったが、家族や担当者と連携し一緒に悩みながら現在も取り組んでいる。

(4) 地域とのつながり、関係作りを行う。

〔利用者へのサービスの充実を図ることに時間や労力を使い、事業所として内向きな活動にとどまってしまった。〕

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

デイサービス 白梅

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	23	17	86	49	42	4	0	221
5 月	18	17	90	49	46	3	0	223
6 月	15	18	66	63	37	7	0	206
7 月	17	17	84	55	46	8	0	227
8 月	16	17	75	54	42	9	0	213
9 月	2	18	87	79	42	0	0	228
10月	8	17	81	90	44	0	0	240
11月	5	13	78	86	38	0	0	220
12月	7	10	71	81	39	0	0	208
1 月	7	7	70	65	28	8	0	185
2 月	9	8	70	78	27	7	0	199
3 月	9	9	74	80	34	12	0	218
合計	136	168	932	829	465	58	0	2588

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	5	2	10	5	3	1	0	26
5 月	4	2	10	5	4	1	0	26
6 月	3	2	9	6	3	1	0	24
7 月	3	2	10	5	3	1	0	24
8 月	3	2	9	5	3	1	0	23
9 月	1	2	10	7	3	0	0	23
10月	2	2	9	7	3	0	0	23
11月	2	2	9	7	3	0	0	23
12月	2	1	10	7	3	0	0	23
1 月	2	1	10	7	2	1	0	23
2 月	2	1	9	7	2	1	0	22
3 月	2	1	8	8	2	1	0	22
合計	31	20	113	76	34	8	0	282

平成27年度 行事及び研修実績表

デイサービス 白梅

月	日	行事	内部研修	外部研修	来訪者
4	21	外出：桜、芝桜、藤、えびね、買い物など 白梅1周年（かるかん） 季節の食材調理、菜園	認知症について		
5		外出：バラ園、港あくまき、パンケーキ いこもち、筍料理、母の日行事、室内ゲーム 菜園、個人活動	緊急時対応について		
6		外出：龍門の滝、外食 買い物 梅干し、皆でオムライス 手芸、貼り絵、個人活動	個人情報の取り扱いとプライバシー保護について		龍桜高校看護科実習
7		外出：嘉例川、ソーメン 流し、空港見学、買い物 七夕、ナンコ、カラオケ 貼り絵、絵手紙	苦情相談その対応について		介護相談員訪問 龍桜高校介護福祉科実習
8		外出：ひまわり畑 夏祭り、回想、貼り絵 盆団子、ところてん作り 味噌作り 川柳・俳句等	介護保険制度について		
9		外出：案山子、城山公園 ご近所探検隊、敬老会 ティッシュアート 案山子作り ゲートボール	事故発生時対応について	自立支援セミナー（岩元） 鹿社協他職種協働研修会 （岩元） 県社レクリエーション （川原）	大正琴ボランティア 龍桜高校看護科実習
10		外出：コスモス 作品作り、芋煮、秋遠足 豆腐・餃子・コロッケ、 蒟蒻作り、額縁作り	災害時対応について		
11		外出：紅葉、神社めぐり 菊まつり、喫茶白梅 文化祭、手洗い講習 蒟蒻・味噌作り BBQ	感染症予防と発生時対応について		介護相談員訪問 白梅文化祭近隣住民の方々
12		外出：紅葉、外食 暦作り、子供交流 金柑ジャム、そば打ち 門松、年賀状、	入浴介助（実技）について		
1		外出：初詣、買い物 書初め、鏡開き、シロップ作り、蒟蒻・甘酒作り 切り干し大根	高齢者虐待について		
2		外出：外食、菜の花、神社 横川駅 室内ゲーム、ご近所探検 桜のモチーフ、高菜付け	介護予防について		
3		外出：天降川、重富海岸 近隣散策、新聞ゲーム 味噌、ふくれ菓子、 押し寿司、おなんこさあ	緊急時対応、救命について		

平成 27 年度統計資料及び添付資料

<1>事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	窒息	その他
2	0	0	0	1	0	0

(発生場所)

玄関	浴室	トイレ	食堂	廊下	屋外	その他
1	1	0	0	0	0	0

(発生時間帯)

深夜 0 : 00～4 : 00	早朝 4 : 00～8 : 00	午前 8 : 00～12 : 00	午後 12 : 00～16 : 00	夕方 16 : 00～20 : 00	夜間 20 : 00～0 : 00
—	—	2	1	—	—

(事故の内容)

対象者	事故種別	事故概要
76 歳 女性	転倒	迎え時、乗車目前で転倒。職員は近くで一緒に歩いていたが間に合わず。外傷なし。
91 歳 女性	打撲	浴槽の淵を掴み、浴槽内から出る時に手を滑らせ下顎を打撲。滑り止め防止をしていたが、掴んだ部分は滑り止めなかった。
92 歳 女性	転倒	立ち上がり、方向転換時に座り込むように横たわる。外傷なし。

<2>苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
利用者家族	「白梅にはもう行かない。」と本人が電話で言ってきた。理由を言わない。何かあったのでは？	申し出後、家族と頻繁に情報交換する。「最近電話しても見当違いの返事だったり、聞こえていなかったり。買い物援助しても（高額でも）お金をくれない。こちらも家計に響く状況。」等々あり。 後日「白梅でウマが合わない人がいる、だから行かないと言った。」と家族に話したとの事。聴力の著しい低下や、独語があるので本人にきちんと伝わる方法でコミュニケーションを図る、利用者同士は必要時橋渡しする等の対応をする。
利用者家族	急な連絡があると驚くので死んだ時以外は報告しないで欲しい。	浴室で手を滑らせ下顎を打撲。家族へも連絡入れた。3日後家族から電話あり左記のような連絡あり。

平成 27 年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【基本方針の総括】

新築移転した当初は、片付けに追われ利用者と関わることがあまりできなかったが、次第に落ち着くと利用者と関わる時間を持つことができ、農作業や外出活動など本人の「～したい」という思いを叶えることができた。また、家族会も4回行い自宅で介護されている介護者の話を聞くこともできた。住み慣れた自宅での生活を継続していく為に、利用者が自宅でどのような暮らしをしているのか知る良い機会になった。

【努力目標に対する達成度、成果】

- (1) 本人・家族の望む暮らしを実現する為に、本人の持っている能力を引き出し、住み慣れた自宅での生活が継続できるように支援する。

住み慣れた自宅での生活が継続できるように、看取り期でも本人の「自宅に帰りたい」という気持ちを尊重し、最期まで自宅に帰れるように支援が出来た。また利用者がこれまで継続してきた、地域のゲートボールに参加することで、今までの地域の方々との関係性を維持することが出来た。

- (2) 自宅での生活が継続できるように、本人ができることと支援すべきことを知った上で「訪問」を強化する。

1 1月から訪問体制強化加算を算定するようになり月600回の訪問を超え、自宅での生活を支えることができています。通いを中心としているが、自宅での入浴や服薬支援、弁当配食などの訪問に力を入れることで、利用者の自宅での暮らしや時間を支援できた。

- (3) 事業所の移転に向けて、本人・家族が戸惑うことのないように、また、地域に必要とされる事業所作りを展開する。

新築移転に向けて、工事中も利用者に対し説明を行った。家族には家族会を利用し建築中の写真をスライドで紹介した。移転当日は家族も手伝いに来てもらった。10月末に地域住民の方々を招き、ほぜ祭りを開催し300人程度の参加があった。月に1回、公民館で開催していたお茶ったもんせも新築に移転してからは、事業所で行うようになった。また、子育て中の方々も遊びに来てくれるようになり、地域の方々に気軽に足を運んでもらえるようになった。

平成27年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	27	0	116	116	207	114	71	651
5 月	21	0	113	116	213	94	79	636
6 月	22	0	141	118	257	90	38	666
7 月	0	0	113	122	250	119	40	644
8 月	0	0	90	210	219	105	43	667
9 月	0	0	94	183	241	98	48	664
10月	31	0	206	239	239	102	43	860
11月	31	0	204	231	261	68	57	852
12月	33	0	207	202	256	41	25	764
1 月	30	0	160	200	192	167	0	749
2 月	32	0	149	172	239	155	0	747
3 月	36	33	207	186	273	173	0	908
合計	263	33	1800	2095	2847	1326	444	8808

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	1	0	5	5	7	2	2	22
5 月	1	0	5	5	6	2	2	21
6 月	1	0	5	5	7	2	1	21
7 月	0	0	5	5	7	3	1	21
8 月	0	0	4	6	6	2	1	19
9 月	0	0	4	6	6	2	1	19
10月	1	0	6	7	6	2	1	23
11月	1	0	6	6	6	2	1	22
12月	1	0	6	6	6	1	1	21
1 月	1	0	6	6	4	3	0	20
2 月	1	0	6	5	5	3	0	20
3 月	2	1	7	5	6	3	0	24
合計	10	1	65	67	72	27	11	253

平成27年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来訪者
4	12 13 23 24	徳永医院内覧会 アカペラ合唱団 お茶ったもんせ 家族会	小規模多機能型居宅介護について		
5	7 19 20 28	味噌作り そうめん流し 保育園児とちまき作り お茶ったもんせ	利用者の全人性・尊厳の実践的理解展開について	霧島市地域密着連合会総会（野崎）	
6	6 12 25	ふもとの家棟上げ 味噌作り お茶ったもんせ	認知症及び認知症ケアについて		
7	3 10 18 23	照明保育園児との七夕飾り ボケ塾の集い(家族会) 子供映画会 お茶ったもんせ	基本的な介護技術の方法やチームケアについて	地域からの評価の方法（野崎） 平成27年度集団指導（野崎） 九社連九州大会（西野）	7・28日 国分中央高校1年生 2名 サマーボランティア
8	27	お茶ったもんせ	感染症及び食中毒について	認知症介護実践リーダー研修（上原）7/28～10/2	
9	12 13 21	敬老会（家族会） 陵南中学校運動会 竹子、石峯、崎森敬老会	倫理及び法令遵守（高齢者虐待）	第21回全国の集い in 北海道 2015鹿児島ブレ大会（横井）	
10	11 25 31	照明保育園運動会 ふるさと祭り ほげ祭り、お茶ったもんせ	介護記録の書き方	アセッサー集合講習（野崎） 小規模計画作成担当者研修（野崎）	
11	5 12 24	グランドゴルフ大会 霧島市実地指導 そば打ち	非常災害時の対応について	防火管理新規講習（山口）	ボランティア1名
12	7 16 17 28	からいもあめ作り 照明保育園発表会 お茶ったもんせ 照明保育園との餅つき	リスクマネジメントについて	老施協認知症ケア研修（徳留） 地区老施協介護職員研修（山口）	子育て支援センターとの交流
1	12 28	鹿児島神宮参拝 お茶ったもんせ	身体的拘束等の排除の取り組みについて	地区老施協栄養調理員研修（今村）	
2	7 14 25 28	石峯ウーキング大会 家族会 お茶ったもんせ 初午祭	事故の発生等緊急時の対応について		
3	2 24 28	味噌作り お茶ったもんせ 馬踊り	プライバシー保護の取り組みについて		

平成 27 年度統計資料及び添付資料

< 1 > 利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在の住所地)

出身地	年齢	性	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
		別										
溝辺町	男		1	0	0	2	1	1	0	0	0	18
	女		0	2	1	2	4	3	1	0	0	
隼人町	男		0	0	0	0	2	0	0	0	0	5
	女		0	0	1	0	1	1	0	0	0	
横川町	男		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女		0	0	0	0	0	1	0	0	0	
計			1	2	2	4	8	6	1	0	24	
平均年齢			84.3 歳		最高年齢		95 歳 1 月		最少年齢		67 歳 1 月	
男 性			83.4 歳		男 性		91 歳 1 月		男 性		67 歳 1 月	
女 性			84.6 歳		女 性		95 歳 1 月		女 性		72 歳 2 月	

< 2 > 施設利用状況

事業所名		ふもとの家					
月	登録定員	登録者数	稼働率	月	登録定員	登録者数	稼働率
4 月	25	22	88%	10 月	29	23	79.3%
5 月	25	21	84%	11 月	29	22	75.8%
6 月	25	21	84%	12 月	29	21	72.4%
7 月	25	21	84%	1 月	29	20	68.9%
8 月	25	19	76%	2 月	29	20	68.9%
9 月	25	19	76%	3 月	29	24	82.7%
				合計	324	253	78.0%

* 小数第 2 位以下切り捨て

< 3 > 介護度の状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

性別	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計	平均介護度
男	0	0	3	1	3	0	0	7	2
女	2	1	4	4	3	3	0	17	2.03
計	2	1	7	5	6	3	0	24	2.02

< 4 > 要介護認定更新の推移

ふもとの家	年齢	性別	前回介護度	今回介護度	結果
	88 歳	男性	支援 1	介護 1	進行
	88 歳	女性	介護 2	介護 3	進行
	88 歳	男性	介護 1	介護 1	維持
	88 歳	女性	介護 2	介護 2	維持
	83 歳	女性	介護 2	介護 1	改善
	67 歳	男性	介護 1	介護 2	進行
	70 歳	女性	介護 3	介護 3	維持
	83 歳	男性	介護 2	介護 2	維持
	95 歳	女性	介護 3	介護 4	進行
	91 歳	女性	介護 1	介護 3	進行
	85 歳	男性	介護 3	介護 3	維持
	85 歳	女性	介護 3	介護 4	進行
	91 歳	女性	介護 3	介護 3	維持
	74 歳	女性	介護 1	介護 2	進行
	85 歳	女性	介護 2	介護 4	進行
	72 歳	女性	介護 1	介護 1	維持
	84 歳	女性	介護 1	介護 2	進行
	85 歳	女性	介護 5	介護 5	維持
	88 歳	男性	介護 4	介護 4	維持
合 計		介護度維持 9 名	介護度進行 9 名	介護度改善 1 名	改善率 5%

* 平成 27 年度、介護保険更新認定 19 名中の結果

< 5 > 契約終了状況

	年齢	性別	終了日	終了理由
ふもとの家	93 歳	女性	平成 27 年 4 月 3 日	施設入所
	85 歳	女性	平成 27 年 5 月 31 日	施設入所
	97 歳	男性	平成 27 年 7 月 21 日	死亡
	92 歳	女性	平成 27 年 8 月 21 日	死亡
	89 歳	男性	平成 27 年 11 月 14 日	死亡
	85 歳	女性	平成 27 年 12 月 13 日	死亡
計		終了者数 6	看取り介護数 3	事業所看取り率 50%

< 6 > 事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	窒息	その他
14	16	2	4	7	1	3

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
20	7	4	2	2	6	6

(発生時間帯)

深夜 0 : 00 ~ 4 : 00	早朝 4 : 00 ~ 8 : 00	午前 8 : 00 ~ 12 : 00	午後 12 : 00 ~ 16 : 00	夕方 16 : 00 ~ 20 : 00	夜間 20 : 00 ~ 0 : 00
0	8	10	15	13	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
88 歳 男性	転倒	いざりながら移動中、段差で転倒。左目下の腫れがひどく Dr へ連絡。骨折の可能性があり医療機関受診。骨折は無かったが、経過観察の指示あり。家族へ説明と謝罪を行う。保険者へ連絡。

< 7 > 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
利用者家族	着替えを持たせているが着替えた様子がなく何日も入浴ができていないので入浴させて欲しい。	頭が痛いなどの訴えで入浴を拒否する為、声かけの工夫や看護師からの声かけにて入浴ができるようにする。
利用者家族	服薬支援をお願いしているが、服薬が出来ていないことがある。	訪問した時、服薬の声かけをすると本人は飲んだと言うが確実に服用したか空き袋などの確認を行う。

< 8 > 職員数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
1	1	2	13 (9)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 13 名中「介護福祉士」有資格者 8 名

* 看護職員 2 名中「准看護師」2 名

* 管理者と計画作成担当者は兼務

< 9 > 入職者数

職種 \ 年代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	0	1	1	1	3
うち介護福祉士	0	0	0	0	1	1
計	0	0	1	1	1	3

< 1 0 > 退職者数

性別 / 年代	在職期間	職種
女性 20 代後半	2 年	介護職員 (正社員)
女性 50 代前半	2 ヶ月	介護職員 (正社員)

* 介護職員の平成 27 年度離職率 18.1% (平成 27 年 4 月 1 日在職者 11 人を分母)

* 介護職員の 3 年以内の離職率 80% (平成 27 年 4 月 1 日時に入職 3 年以内の 5 人を分母)

平成 27 年度 事業報告

隠居長屋ろんち

【基本方針の総括】

長屋の入居者同士が支え合い助け合って、身体が不自由になっても、認知症になっても住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、関係者と連携を図り支援した。

【努力目標に対する達成度、成果】

(1) 入居者同士が助け合いながら生活できるよう支援する

「お互い声掛けや見守りを行い、変化時は関係者に連絡を貰う事ができた。」

(2) 地域のひろば事業を通して地域との交流を図る

「毎週土曜日に地域のひろば事業に参加された方と一緒に、お茶を飲みながら談笑し、昼食を楽しんでもらえた。」

(3) 入居者が安心・安全に生活できるよう環境整備を行う

「入居者が安心して生活できるよう室内外の整備に努めた。」

(4) 季節に応じた郷土料理を職員、入居者、地域住民と一緒に作り传承する

「季節に応じた郷土料理を入居者や地域住民に教わりながら作り、ノートに書き留め記録した。」

平成27年度 行事及び研修実績表

隠居長屋ろんち

月	日	行事	参加者
4	4	調理：お菓子作り・竹の子ご飯	26名
	11	調理：野草の天ぷら	31名
	18	調理：かき揚げ・竹の子ご飯	27名
	25	調理：牛すじ煮込み・野草の天ぷら	21名
5	2	調理：ちまき作り	28名
	9	調理：味噌作り	29名
	16	調理：かからん団子・いっさ団子	27名
	23	調理：カライモ植え	30名
6	6	調理：牛すじカレー	29名
	13	調理：マグロ漬け	25名
	20	調理：手作り豆腐	27名
	27	調理：ソバ団子	25名
7	4	調理：ソーメン汁、煮物、揚げだし豆腐、よせ豆腐、おにぎり、七夕飾り作り	36名
	11	調理：牛すじ煮込み、ところてん、おから煮	29名
	18	調理：揚げ物（あじ、きびなご）、酢の物、おやつ（ぼたもち）	39名
	25	調理：夏野菜の天ぷら、味噌汁、冷ややっこ、きゅうりの漬物、おやつ	32名
8	1	調理：流しソーメン、おにぎり、漬物、おやつ（コッパ団子）、梅干し作り	35名
	8	調理：鰯の南蛮漬、きびなごのから揚げ、ナスのおひたし	39名
	15	調理：かのこ汁、だんご、ソーメン汁、おやつ（ぶどう）	38名
	22	調理：夏野菜スープカレー、焼ナス、焼ニガウリ、酢の物	40名
9	5	調理：かぼちゃコロッケ、ゴーヤのかきあげ、味噌汁、おやつ	34名
	12	調理：鶏ずし、鶏さし、味噌汁、白和え、漬物、おやつ	28名
	19	調理：里芋のでんがく、こんにゃくのでんがく、漬物、おやつ（さねん団子）	34名
	26	調理：牛すじ煮込み、酢の物、ごはん、おやつ（月見団子）	34名
10	10	調理：煮込み、酢の物、手作りこんにゃく	31名
	17	調理：石狩鍋、炊き込みご飯、おやつ（ホットケーキ、こしあん）	34名
	24	調理：ちらし寿司、すまし汁、芋こんにゃくと小松菜のおひたし、里芋のでんがく	29名
	31	ほぜ祭り（法人事業所 ふもとの家にて…地域の子供たちや高齢者との交流）	200名
11	7	調理：蒸し野菜、味噌汁、漬物（はやと瓜）	41名
	14	調理：おでん、煮魚、漬物（大根、はやと瓜、生姜）	44名
	21	調理：がね、味噌汁、かぶの酢の物、干し柿作り	32名
	28	調理：かしわ骨煮込み、から芋飴作り下ごしらえ・・・麦もやし干し	23名
12	5	調理：もつ鍋、から芋飴作り下ごしらえ・・・もやしを粉にする	30名
	12	調理：猪肉の煮込み、野菜の盛り合せ、おやつ（手作りから芋飴、ふかし芋）	40名
	19	参加者でバーベキュー	30名
	26	子供たちとの交流：餅つき、蕎麦打ち、調理：年越しそば、としかさ	50名
1	9	調理：七草がゆ、白和え、漬物、そば団子	46名
	16	料理：鰯だいこん、おやつ、高菜の味噌漬け	39名
	23	調理：かしわの切り込み汁、ガネ、野菜、おやつ、	32名
	30	調理：かねんこ汁（だんご汁）、サラダ、おやつ、	37名
2	26	調理：すじ煮込み、味噌和え、大根漬物、そばがき、	39名
	13	調理：鰯大根、鰯のてんぷら、白菜の漬物	35名
	20	調理：さかした、白菜漬物、山菜のてんぷら	38名
	27	調理：里芋コロッケ、高菜の漬物、そば団子	41名
3	5	調理：本格カレー、白和え、ブロッコリーの酢味噌和え	35名
	12	調理：鯖の味噌煮、ハウレンソウお浸し、しいたけの佃煮、そば団子	37名
	19	調理：ぼたもち、でんがく、漬物、から芋飴	37名
	26	調理：いろいろおにぎり、とれたてタケノコとせんもとの酢味噌和え	36名